

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 ユニバーサルデザインの推進
-----	-----------------

施策主管課	保健福祉総務課	総合計画記載頁	95ページ
-------	---------	---------	-------

1 施策の位置付け

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	5 都市の福祉力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	充実した保健・福祉サービスにより、住み慣れた地域において自立した生活を送っています。
------	-----------------------------	----------------	--------------	---------------------	--

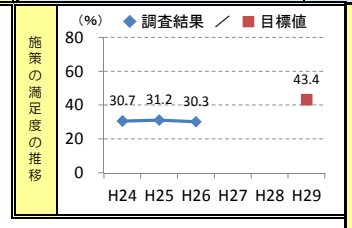
2 施策の取組状況

施策目標	市民の誰もが安心して快適に生活を送るための都市環境や社会環境が整っています。
------	--

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価		
	指標1	市有施設のバリアフリー化施設の割合(%)	単年度目標値	67.8	69.6	71.4	73.2	75.0	76.8		A	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	30.7%	31.2%	30.3%				B
現状値			65.8%	実績値	67.1	71.6	72.3														
目標値(H29)			76.8%	単年度の達成度	99.0%	102.9%	101.3%						目標値(H29)	43.4%	前年度からの増減		0.5%	-0.9%			
指標2	障がい者シンボルマーク等の認知度(%)	単年度目標値	48.2	51.5	54.8	58.1	61.4	64.7	B	【参考】中核市等との水準比較	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B									
		現状値	44.9%	実績値	44.6	45.2	44.1							ノンステップバスの導入率(%)	中核市平均	30.0	32.9	35.0			
		目標値(H29)	64.7%	単年度の達成度	92.5%	87.8%	80.5%								実績値	31.9	33.1	37.9			
単年度目標値									中核市での本市の順位	17位/41市中	19位/41市中	16位/42市中									
		単年度目標値																			
		現状値		実績値																	
		目標値(H29)		単年度の達成度																	

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上(+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準(±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下(-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		
	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]		やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 国では、平成20年3月にバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関する基本的な方針として「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱」を定め推進している。 少子高齢化や核家族化が進む中、誰もが日常生活の中で、手助け・見守り・声かけなどを自然に行えるよう、やさしさや思いやりの心を育むことや公共的施設・移動手段など生活基盤のバリアフリー化などを推進していく必要がある。 	市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> 公共的施設や道路・公共交通などの生活基盤のバリアフリー推進や、「福祉のまちづくりポスターコンクール」の開催、「ユニバーサルデザイン文書マニュアル」作成・周知など、こころのユニバーサルデザインの周知啓発に取り組んでいるが、市民満足度は前年度と同水準である。 	総合評価	79点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 市有施設のバリアフリー化については、計画的に整備を行ったことから、目標を達成した。 障がい者シンボルマークの認知度については、各種イベントや小中学校、保健と福祉の出前講座などにおいて、継続して周知活動を実施したが、アンケート結果としては横ばいである。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	こころのユニバーサルデザイン推進事業	○★	・こころのユニバーサルデザインの普及啓発	市民	・福祉のまちづくりポスターコンクール開催 ・啓発用ポスター、チラシ、ハンドブック等の作成配布	計画どおり	790	H20	先駆的	誰もが日常生活の中で手助け・見守り・声かけなどを自然に行えるよう、様々な啓発活動・交流活動を促進し、相互理解を深めながら、やさしさや思いやりの心を育む運動を推進していく。
2	やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり公共的施設整備費補助金	★	・公共的施設のバリアフリーの推進	本市区域内に公共的施設の改修を行う事業者	補助対象整備箇所(傾斜路・手すり・エレベーター・便所)の整備費の一部を補助	計画どおり	1,012	H12		高齢者や障がい者をはじめとするすべての市民が公共的施設を安全かつ円滑に利用できるよう、引き続き、公共的施設のバリアフリー整備費の一部を助成する。
3	市有施設及び交通環境のバリアフリーの推進	★	・公共的施設のバリアフリーの推進 ・交通環境のバリアフリーの推進	市民	・市有施設のバリアフリー化推進 ・交通環境のバリアフリーの推進	計画どおり	0	H13		高齢者や障がい者をはじめとするすべての市民が市有施設を安全かつ円滑に利用できるよう、引き続き、利用状況や地域バランスなどを踏まえ、計画的に市有施設のバリアフリーを推進していく。
4	公園のバリアフリー化整備事業	★	・公共的施設のバリアフリーの推進	高齢者や障がい者をはじめとした公園利用者	・公園のバリアフリー化	計画どおり	6,535	H13		市民の誰もが利用しやすく、安心して親しめる場とするため、公園のバリアフリー化に取り組んでいく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆こころのユニバーサルデザインの推進については、他者を理解し、やさしさや思いやり、互いを尊重する気持ち(福祉のこころ)を活動につなげる施策が求められている。</p> <p>◆バリアフリーについては、公共的施設のバリアフリー化や交通環境充実といった都市基盤の整備などを進め、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる施策が求められている。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆誰もが快適な生活が送れるよう、円滑な移動を確保しながら、多様かつ身近な生活基盤のバリアフリー化を計画的に推進するとともに、日常生活の中で手助け・見守り・声かけなどが自然に行えるよう、様々な啓発活動により、やさしさや思いやりの心を育む運動を推進していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆こころのユニバーサルデザインの推進事業 福祉のまちづくりポスターコンクールの開催、障がい者シンボルマークや先駆的に策定した「こころのユニバーサルデザイン文書マニュアル」の周知のほか、福祉関係団体が開催する福祉イベントや体験型研修等の支援など、継続して啓発活動に取り組んでいく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>